

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 18 日

所属	商経学部	職名	教授	氏 名	齋藤 香里
研究課題	格差社会の介護				
研究キーワード	格差 介護		当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった	
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	11. 住み続けられるまちづくりを	

1. 研究成果の概要

日本の介護問題についてマイク・サヴィジ（2019）『7つの階段』の分析手法などを用いて、既存のデータを再分析する計画であったが、計画通りに進まなかった。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

なし

【著書・論文（査読なし）】

『財政学〔第六版〕』栗林隆・江波戸順史・山田直夫・原田誠〔編著〕（2023）創成社、担当：第15章「社会保障」pp. 279-294

【学会発表等】

なし

3. 主な経費

デスクトップパソコンが旧型でトラブルが発生するため購入。その他、学会費、関連書籍、文具代に使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

[その他の活動]

府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会 副会長（府中市）

（本文は2ページ以内にまとめること）